

第 2 回統合検討委員会に向けたご意見と回答

Q. 専門部会について。各小学校 P T A の委員をどのように分けるのか？複数の部会の委員を兼務する形になるのか？

A. 専門部会については、各校の P T A の方々は 2 名程度ずつを想定しており、最低 1 名は統合検討委員の方に入っていただきたいと思います。ただし、委嘱する形ではありませんので、代理の方の出席も可能という形を想定しております。事務局としても、委員会及び専門部会の内容については、会の終了後速やかに内容をアナウンスしてまいります。代理出席の際は、協議事項を共有する必要がある為、引継ぎ等を行っていただければと思います。

また、ワークショップやアンケート、専門部会の実施時期については、P T A 役員の新体制となった 4 月以降が良いかと思っております。

Q. 総務・庶務部会のメンバーがこの検討委員会のメンバー構成と大きく変わらず、検討委員のメンバーを絞っただけなのであれば、石岡中 - 城南中の時のように時期・場所の協議についてはこの検討委員会で行ってもよいのではないか。

A. 確かに総務・庶務部会を挟まない形のほうがその決定は早くなり、統合の時期について早くアナウンスが可能かと思えます。委員会の皆様のご意見を伺いながら進めて参りたいと存じます。時期・場所については専門部会を挟まずこの検討委員会で協議するという事も、第 2 回検討委員会の議題に含めたいと思えます。

Q. 地域文化の継承などの部分は、ワークショップなどで検討されることを期待する。

A. 新しい学校づくりにおいて、地域との関わり方は重要な項目だと考えています。専門部会などを通じ、地域の方々のご意見を十分に聞きながら協議・検討を進めてまいります。

Q. 低学年の児童だけでバスを待つような場合も出てくるかもしれない。待機場所安全確保は大丈夫か？

A. 専門部会のなかで、通学路やバスルート、待機場所について十分な協議・検討を重ね、児童が安全に通学出来る環境整備を進めてまいります。現在小学校のバスについて、低学年と高学年で帰りの時間が異なることから、同一バスで朝 1 便・帰り 2 便の対応をしています。帰り 2 便の間隔は概ね 1 時間程度。統合により通学距離

が遠くなることから、間隔が1時間半以上は必要となってまいります。(計画上通学バスの乗車時間は概ね45分から50分以内としているため)。現在と同様に2便を用意するとなると高学年の帰宅時間が遅れることも想定されます。この点についても十分協議してまいりたいと思います。

かすみがうら市では、バス利用の低学年は教室等に待機し、高学年の授業が終わるまでの間、先生が宿題や課題を見ています。高学年の下校時刻に合わせてバス1便を用意し低学年から高学年まで一緒に帰ることとしています。

→賛否両方の意見はございますが、この効果として、授業の早く終わる低学年の児童と高学年の児童とが一緒に下校できることから、安心であるとの意見もございます。

Q. 地域住民の関心は、地域の交流に大きな役割であった学校がどうなっていくのかといったところが多い。高浜幼稚園跡に関しては、市の備品などが置かれている。災害などに備えての使用なら、地域にも周知するべき。

A. 統合再編に際し、地域の中心であった学校がどうなっていくのかという声は説明会などでも挙がっています。閉校後の跡地利活用については、他の部局とも連携を図り、地域住民の方々からのご意見を十分に聞きながら、検討してまいります。協議・決定事項についてもきちんとお知らせしていきます。

Q. ジャージを統合前に使用できるのはありがたい。高浜・三村・関川では3校合同の宿泊学習があるので、その時に新しいジャージを着られるのは良い。

A. 統合に先立って、体操服等が新調出来るように進めていくメリットの1つかと思います。検討事項をしっかりと詰めていき、ご家庭の負担軽減にも繋げていければと考えております。

ジャージ・体操服検討の時期について

ジャージ・体操服について、資料裏面スケジュールではR4.12月までに決定としているが、このスケジュールはR6.4開校時に合わせたスケジュール。仮にR3.12月を目途として決定すれば1年前のR5.4月に使用可能となる。小学生の成長過程における体操服等の更新を考えれば、「お下がり」ができなくはなりますが、各家庭での負担は小さくなるかと思えます。ただし、現在の学校行事での統一感といったものが失われることも懸念しなければならないため、今後の検討委員会及び専門部会で議論しながら進めていくこととなります。

Q. 日程調整や開催通知等の連絡について。各個人宛に封筒と文書は手間ではないか。PTAについては各学校の代表にのみ文書で送り、あとは委員に回してもらうのどうか。

A. 連絡手段については、様々な方法があります。今後協議を重ねていくうえで、より効率的な方法を選択したいと思います。